

FRONT[正面]



[ストライカージンクス]

ストライカージンクスの前、背、側面、フルディマーのような増加装甲がジンクスのボディエルエットを大きく変化させている。むしろ、それ以上に注目されるのが脚で、つづりと並行する大型武器のアリーム、背面には増加装甲子タンク、高運動GNバーニア装備する大容量のパワーバック、接続されたサイアームには、様々なオプションパーツを装着することができる。ジンクスⅣの脚部子タンクのプロトタイプらしいビルダーセッティングにて作成された。

## STRIKER GN-X

SIDE[側面]

REAR[背面]



[頭部カバー内]

製作／マリオ・レナート エ／セリオ・レナート

現在計画中のガンプラ新施設、その目玉アトラクションと噂されているGクエスト(仮称)は、多くの有名ビルドファイター達の協力によって開発が進められているという。そのテストプレイに参加したレナート兄弟の新機体、今回は双子……ではなく、レナート第3の男、文字通り三男のセリオ・レナート氏に解説頂く。



FRONT[正面]



[ジンクスIV]

こちらはジンクスⅣ／レナート二階建機の前、背、側面、肩部背面に接続された増加装甲子タンクが、高性能機で勝ることの存在感を放つ。形状こそベースのジンクスⅣから変化はないが、地上戦を想定したアンブッシュ迷彩カラーやイメージしたカラーリングがミリタリー感を加速させている。

## GN-X IV TYPE.GBF



[ストライカージンクス&ジンクスIV]

製作／マリオ・レナート エ／セリオ・レナート

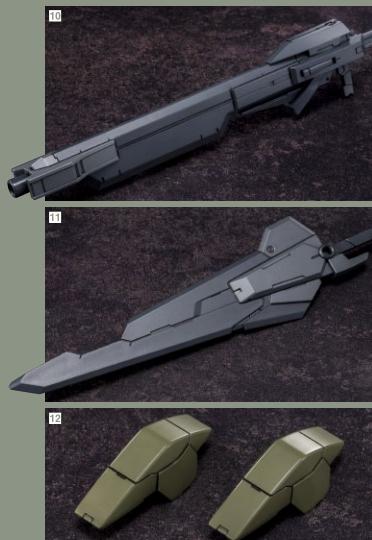
現在計画中のガンプラ新施設、その目玉アトラクションと噂されているGクエスト(仮称)は、多くの有名ビルドファイター達の協力によって開発が進められているという。そのテストプレイに参加したレナート兄弟の新機体、今回は双子……ではなく、レナート第3の男、文字通り三男のセリオ・レナート氏に解説頂く。



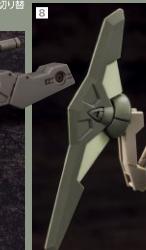
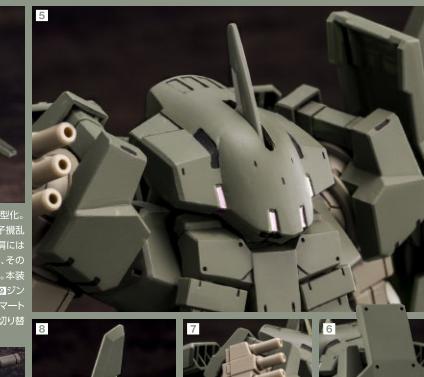


# 天 Cielo-Tierra-Ser Humano 地人

## STRIKER GN-X GN-X IV TYPE.GBF



⑤データ収集目的を主とした各種のセンサーを強化するために頭部が大型化。GN粒子を制御するラジカルアンプも内蔵している。⑥右肩には粒子無効機能を持つ特殊爆弾を射出するGNスマートディスクチャーチャーを、左肩には無害な形状の増加装甲、機体側面を防護する。⑦敵からの攻撃に対し、その着弾角度を調整して跳ねを狙う可動式のシールド、GNティエンサード。本兵器をバッパックのサブアームに接続した場合は、セミオートで稼働する。⑧ジングルス用のGNヒームライフルをベースとした大型のメインエビポン、GNスマートガン。連射や爆発、エネルギー(粒子)の仕組など、多彩な射撃モードの切り替えが可能。先端部にはGNヒームサーベルの発振機能も備えている。



①今回の解説をお読みいたセリオ氏のジングルスは、ショートバレルライフルとシールドを装備した突撃兵仕様。最前線に身を置く危険な役割だが、それだけに新メンバーの彼がジグスV兄弟の名に相応しい戦闘技術を習得済みであることがわかるだろう。②両腕のハンドボーンに接続する大型のGNシールド。ガラッジから流用したGNフィールド発生装置が組み込まれている。③セリオ君のGNヒームライフルは、連射性に優れたショートバレルタイプを採用。④近接攻撃の要であるGNヒームサーベル。圧縮したGN粒子によって形成されたビーム刃を発振する白兵戦用装備。

■レナータ兄弟の次男、フリオ氏が担当するジングルスは、ロングバーリライフルと大型のバターソードを選択。今回の作例では、身上上面にGNシールドを接続しているが、実際のストライクでは非装備。ファイター専用の兵装は、攻撃に特化した仕様になっている。①GNヒームライフルはロングバーリ装備し、遠距離射撃に対応。②ジングルスの装備を転用したGNヒームサーベル、近接戦での威力は勿論だが、GNフィールドを展開可能なシールドとしても運用が可能だ。

# Cielo-Tierra-Ser Humano 人 STRIKER GN-X GN-X IV TYPE.GBF



せりわれなーと(左)……近況／ある後、腰付きが悪くて気分転換しようと思いつつからいたら、隣のシミュレーション室から「オーエス」オーディオで叫び声がしたんだ。だいぶぐるぐるになり込んだんだけど、あの声は確かに兄さん達だったよな……で、次の日、フリオ兄さんにそのことを話すと「オーリー第2回特殊訓練だ」ってニヤニヤしてる……うーん、何をしてたんだろ。

## 【ストライカージンクス】

マリオネートがアザラシンドジンクスをベースに改良したカブラー、ジンクスIVの開発に当たり、地上戦データを収集するためのテスト機といビルダ設定で生まれた本機は、外観面においても重力での運用を前提とした選択肢なされており、条件が允ひたバルブードで特に優れた性能を示す。マリオはこの機の他にも、彼の兄弟達にジンクスの地上配備型を機製作。これら3機は故郷の戦術論「天・地・心」に見立った新生レナート小隊として、Gエストのアクチュアルファイト(実戦)チャレンジに挑んだ。



①新生レナート小隊にあって、マリオ氏の機体のみがカスタム機であることは、部隊内で最高の性能を氏が抜く、という単純な理由ではなく、新生レナート小隊がミッションを完遂させたため必要な機体、つまりところ、ストライカージンクスは最高の性能機なのである。

②フリオーマーを想起させる階級装甲は、地上戦において機動性よりも防御性能を重視したマリオ氏の戦術原則によるもの。対戦、対ビーム性能に優れる、ある程度のダメージを受けられてもティドウェイ特有の、戦意でバージジルすることも可能だ。



## ストライカージンクス&ジンクスIV

製作:マリオ・レイテ 文:ジョオ・ドーベー

…………さて、あまりこの手の露出は性に合わないが、たまにはこういつ戯れも悪くなべ。既成のカブラーを作ったのはマリオ兄貴だが、俺でも十分に自説では可能だ。兄さんの登場を中心にして、いたずら者然と、黙って耳を澄ませておけ。テストフレイの使用機体には、疑似太陽炉搭載機M5のジンクスタイプを採用した俺とフリオ兄貴はジンクスIVの装備進化したが、マリオ兄貴はアドヴァンストジンクスをベースに改修した新型ガングンラを用意していた。それが、ストライカージンクスだ。

こいつ、本当にすごく格好良いと……あ違う、今回今は実戦闘の環境再現を突き詰めたアクチカル・ファイト(実戦)というエント内容でな、それに対応すれば、このようない姿にならなければいけないのだ。浮かれるんじゃない。兄貴達は前回の「コート・ド・ショーガン」に2つの要素(ハイアベメタ・ギュウ)を落として込んでいたように、この3機のジンクスにももう一つの要素を見立てている。それは故郷の戦術論「天地人」という言葉から、成功させる3条件と言わわれているのだ。マリオ兄貴が天で、楽曲によつて僕が人に、フリオ兄貴が地に、人に変わることもあるつまりレナート小隊自体が、天地人なのだ。

…………この兄さん達の考え方、感動しないかい？僕みたいに新米でも、1つの戦力をどうして等しく握つてくるの、背伸びして兄さん達の凄さを改めて認識できただく、しかもこのクエストを「アース」コースとしていたのはスルバスター、メイジ……んあ～、これこそ兄さん達に怒られちゃうな、でもなんだかんだ言って、あの人のいい関係だと思つんだけね？